

樟木館日和

しゅもくかんびより ◆ 第二十六号

文化のみち樟木館
Cultural Path Shumokukan

発行日:2022年9月30日

発行:文化のみち樟木館

指定管理者:特定非営利活動法人樟木俱楽部

ときめく館

(2面「ときめく館」より)

寄り添つてくれることでしよう。

何かを語りかけ、

訪れる人それぞれの心に

懐かしさに切ない気持ちが

どこか可愛いらしく、
わくわくしたり、
こみあげたり、

静謐ながら

モチーフのそれぞれは、
お屋敷の中の味わい深い

ステンドグラスの図柄や文様、

今もなお伝えていきます。

経年の美しさとともに、
往時の暮らしの華やぎを

時を重ねてこそ馴染んだ

時代を超え

館内各所の装飾や
こだわりの設えは、

洋館の玄関ホール右側
洗面所入口上部
ステンドグラス「青い鳥」

ときめく館

文化のみなら樟木館は、大正末期から昭和初期にかけて輸出陶磁器の貿易商であった井元為三郎によって建てられた邸宅です。緑豊かな庭園を囲むように、和館と洋館が併設された住宅様式は当時の流行で、洗練されたお屋敷は富の象徴でもありました。館内各所の装飾やこだわりの設(しつ)うえは、時代を超えた美しさとともに、往時の暮らしの華やぎを今もなお伝えてています。ステンドグラスの図柄や文様、お屋敷の中の味わい深いモチーフのそれたは、静謐(せいひつ)ながらどこか可愛いらしく、わくわくしたり懐かしさに切ない気持ちがこみあげたり、訪れる人それぞれの心に何かを語りかけ、寄り添ってくれることでしょ。晚秋の樟木館で遠い昔に思いを馳せながら、心ときめく、ゆっくりとした時間を過ごしてみてはいかがでしょうか。



洋館の玄関ホール
洗面所入り口上部
「青い鳥」の
ステンドグラス

歐米の幸福の象徴である2羽の青い鳥が、恥じらうように背合わせに、銀杏の木の枝の上で寄り添っています。

この美しい構図が施されたアーチ型のステンドグラスは、洋館の玄関ホール右側の洗面所入口の上部にあります。黄色に染まった銀杏(いのちよう)の葉とぎんなんの赤い実のモチーフが特徴で、樟木館のシンボルとなっています。



洋館の玄関庇に埋め込まれた八角の「星形照明」

星形八角形のかたちについては諸説あります。この照明のある玄関は、風水や方位学上で運気が良いとされる南向きに位置していることから「良い気の招き入れ」へのこだわりで、あつたと考えられます。朝や屋のきらきらと輝く美しい光は、瑠璃色の美しい光がくっきりと際立ち、見ているだけで心がときめいてきます。

名前の通り、イノシシの目を模したとされるその形は、ハートの形そのものです。樟木館の母屋や蔵の鬼瓦に「亥の目」が施されています。これらを肉眼では見ることは難しいですが、西蔵正面の鍵金具(分銅型)の中にも、とても小さな亥の目文様が施されています。



SHUMOKU CAFE
「オナガドリ」のステンドグラス

喫茶室のサンデーラス出入口の欄間に、2羽のオナガドリが仲良く向かい、シンメトリーに配置されたステンドグラスが陽光を通して美しい光を放っています。(ご入室は、喫茶室ご利用の方に限ります)



まるでハートの形にそっくりな亥の目(猪の目)

亥の目(いのめ)は、古くから邪気を払う魔除けとして、神社仏閣、城、民家などの、金具や瓦に多く使われてきた文様のひとつです。名前の通り、イノシシの目を模したとされるその形は、ハートの形そのものです。樟木館の母屋や蔵の鬼瓦に「亥の目」が施されています。これらを肉眼では見ることは難しいですが、西蔵正面の鍵金具(分銅型)の中にも、とても小さな亥の目文様が施されています。



窓のねじ締め式鍵(三つ葉)

窓のねじ締め式鍵(ハートっぽい?)



浴室の止め金具

デスク引き出し シェル型引き手



小さな“かわいい”が随所に…さがしてみませんか?

亥の目(いのめ)は、古くから邪気を払う魔除けとして、神社仏閣、城、民家などの、金具や瓦に多く使われてきた文様のひとつです。名前の通り、イノシシの目を模したとされるその形は、ハートの形そのものです。樟木館の母屋や蔵の鬼瓦に「亥の目」が施されています。これらを肉眼では見ることは難しいですが、西蔵正面の鍵金具(分銅型)の中にも、とても小さな亥の目文様が施されています。

秋の
シート
紹介

2022 10/14(金)~10/30(日)

名古屋まつり協賛
伊勢型紙展

「エンジョイ伊勢型紙」

～伊勢型紙を愉しもう～



歌川広重「東海道五十三次」



主催・アクトティエイジ伊勢型紙の会、
和楽の会文化のみち櫻木館
※詳細は、裏面「文化のみち櫻木館」
に記載されています。
お問い合わせいただぐか
ホームページをご覧ください。

伊勢型紙は千年の歴史を持つといわれる伝統工芸で、三重県鈴鹿地方を中心に発展してきました。細かな手仕事が生む格調高い文様が魅力です。今年のテーマでもある「エンジョイ」とは、作者側はもちろん、ご覧いただく皆様にも展示を通して愉しんでいただけること。作者の感じる人生の喜びや樂しさを型紙に彫ること、そして彫る時の充実感や樂しさを型紙を通して感じていただけたら幸いです。今回共同制作として、歌川広重の「東海道五十三次」を題材に、三十次までを伊勢型紙で表現した作品も展示します。期間中には乗つくりのワークショップ(要事前申込)も開催します。

令和4年度 催し物暦 (4月~9月)



7/10
開館記念
ハル・カルテットコンサート



4/22~5/8
なごや折り紙建築展



9/9~10/10
和紙スイーツ展～たからもの～



シェアサイクルサービス
「Charichari(チャリチャリ)」

「チャリチャリ」は、スマートフォンアプリ(注)を使ってご利用いただける1分6円の文化のみち櫻木館にも駐輪ポートがあります。なさってみてはいかがでしょうか。

注: 詳しい利用方法は、チャリチャリのホームページをご覧ください。
<https://charichari.bike>

